

第4回 海軍道路の桜並木に関する懇談会

日時：令和3年12月20日（月）16：00～18：00

場所：中屋敷地区センター

議 題

○開会

○議事

- 1 前回までの懇談会での主な意見
- 2 A, B 区間の樹種（案）について
- 3 C 区間の考え方（案）について
- 4 意見交換

○閉会

■配布資料

資料1：今までの懇談会での主な意見

資料2：A, B 区間の樹種（案）について

資料3：C 区間の考え方（案）について

■第5回 海軍道路の桜並木に関する懇談会について（予定）

日時：令和4年1月27日（木） 16：00～18：00

場所：中屋敷地区センター

※新型コロナウイルスの感染状況等により変更となる場合があります。

後日、改めて出席依頼文を送付させていただきます。

- ①: 第1回懇談会での意見
- ②: 第2回懇談会での意見
- ③: 第3回懇談会での意見

既存の桜並木の現状・課題に関する意見

A,B,C区間共通

植栽間隔が狭く、枝が伸ばせない、視界が悪い

- 海軍道路の桜並木は、間隔が狭い。道路のすぐ近くに植えられている。枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。①
- C区間（中瀬谷消防出張所から瀬谷中前交差点）の桜は、苗木の時は植栽間隔について気にならなかったが、成長するにつれて疑問に感じていた。車の出入りの際、視界が悪いと意見が出ている。①
- 瀬谷西高校の隣に植えてあるヨウコウは間隔の狭さを改善する趣旨が込められていない。②

下枝、草丈が伸びて、視界が不良・接触

- 海軍道路では、トレーラーに積んだ重機が桜にぶつかっている。①
- 上瀬谷小学校東側の交差点も視界が悪く左折の車と自転車がよくぶつかる。①
- 消防から北側の桜は枝が道路にでている。②
- 桜並木の下枝もなかなか刈ってもらえず伸びてしまう。農地に草が入ってきてしまうので、苦情がきている。①

歩道への根上がり

- 歩道への根上りにより、歩道に割れ目が生じている。③

害虫の発生、被害

- 毛虫が海軍道路に落ちる。消毒はきちんとしてほしい。①
- 海軍道路のソメイヨシノの台風や害虫等による倒木を危惧している。①

手入れの頻度、成長のスピード

- 手入れの頻度によっても課題が変わってくると思う。③
- 手入れの頻度、剪定にどれ程の経費を要するのか。③

A,B区間

農地との関係 根・枝の越境、カラスの巣

- 農地に影響が出ているので根が張らないものにしたい。①
- 桜は高いところに枝が伸びるので、カラスが巣をつくってしまう。カラスが畑へ行く経路になってしまい、畑にカラスが増えている。①

C区間

落ち葉の清掃

- C区間は住宅や商店があり、落ち葉掃除が大変なので桜ではないものにしてほしいという意見を聞いている。常緑樹が良い①②

海軍道路の桜への思い

- 小さい頃から米軍との交流会などで海軍道路の桜並木や海軍広場を使ってきた。印象に残っている場所。桜がどんどん伐採されていることは非常にさみしい。①
- 全ての桜を伐採し更地にしてしまうと非常にさみしい。瀬谷は通信施設があったこと、空の青と木の緑のコントラストなど、他の場所の桜並木とは異なった趣があると思っている。①
- 桜は印象的で、毎年楽しみにしている名所なので桜がなくなると残念に思う。①
- 桜を切ってしまうと風流が無くなってしまう。スペースがあるなら桜を植えてほしい。C区間もできれば4号線で同じなので、桜が良い。③
- 桜は霧が丘から続いている。多少桜を残した方が良い。③
- アウェー的にはソメイヨシノが一番いいと思うが、桜でなくても良い。地元の意見を尊重する。③

現地説明会を終えて

既存の桜の伐採は仕方がない

- 実際に木を見ると、根が歩道に乗り上げていてかわいそうだと感じ、残せないことに納得した②
- B区間もC区間も現在の桜を存続させるのは難しい。②
- 瀬谷区の名所である桜を残す考えから脱却してもよいかもかもしれない。②
- 伐採するのであればソメイヨシノの樹形を早く形成させ、間隔が空いてしまった部分にすぐに後継種を植えてほしい。②

ソメイヨシノをレガシーとして残す

- 海軍道路の桜も有名だが、公園の中に桜を植えれば海軍道路に植えなくてもいいのではないかとと思う。①
- 公園の中に名所に匹敵するような桜並木をつくることは検討されたのか。①
- 桜は瀬谷の名物。公園は広いので1000本ぐらいは植えられるはず。観光客も来て、新しい名所になる。①
- 今あるソメイヨシノ全てがもう駄目なのか、残せるものがあるのか。2027年の花博を絡めて、集合体として残せるソメイヨシノがあるならその会場にもっていくという案もあると思う。①
- 桜（特にソメイヨシノ）は日本の心であり瀬谷区のレガシーでもある。そのようなソメイヨシノをレガシーとして残したいという思いがあるのであれば、開発の中で、公園に何か残せば良いと思う。②

既存の桜の活用

- 伐採するならばやく伐採して、何かレガシーとして残した方が良くと思う。新しくできる駅のベンチなどに使えるよう、元気なうちに切った方が良い。②
- ベンチをつくったり、燻製のチップに活用するのは良い②

各種団体とのタイアップで花を植える

- 花博に向けて、高校生が花を植えて世話をしている。タイアップで花を植えるのはどうか。③

今後の桜並木を考える上での留意点

既存の桜の活用に関する意見
管理への工夫に関する意見

1 前回までの懇談会での主な意見

- ①: 第1回懇談会での意見
 ②: 第2回懇談会での意見
 ③: 第3回懇談会での意見

方向性に関する意見

誰のために、どのような空間を作るのか。(何を重視するか)

- 誰のためにその空間(海軍道路の桜並木)をつくるのか。桜のトンネルを写真として収めるために作り直すなら、大きい木を植えなければならない。しかし歩行者の散歩のためであれば、近くに感じられるように低いものでもいい。②
- 海軍道路の桜が街路樹としてどうあるべきかを考えるべき。②

今までの桜の継承(由来や思い)

- もし桜をなくしたあとで、後の世代にやっぱり桜がよかったといわれると困る。生活に根付いた意見が多いが、今までの由来や思いを継承していくことについては重要視されないのだろうか。①

樹木の成長・大きさを考える(樹木としての視点)

- 苗木を植えた当時、20年先を見据えなかったことが残念。人間のせいでも桜の成長を阻害してしまった。①
- 道路のすぐ近くに植えられている桜は枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。①

安全で明るい通学路、歩行空間(生活道路)

- これからたくさん関係者が来て交通量も増える。できるだけ早く桜を切って、安全な通学路を確保してほしい。①
- C区間の東側の広い歩道幅をキープしてほしい。①
- 海軍道路は夜になると真っ暗なので、瀬谷中学校に通う子どもたちは通りたがらない。なんとか明るい道で帰らせてあげたい。①

今後の桜並木を考える上で重視する視点

各区間の特性を踏まえて検討

- 区間に合ったものを選んで植えれば名所になる。①

B区間への桜

- B区間には別の桜を植えてはどうか。①
- B区間には立派な桜を植えて桜並木をつくってほしい。①
- B区間は桜を残したい。①
- B区間は桜で品種を変えて4月(学校の入学式の時期)に咲くようにしてあげることが大人の使命。①

A,B区間とC区間の違い

- C区間は住宅地があるので、低めの桜か別のものを植栽する。①
- ※詳細は右上の樹種に関する意見を参照

区画別に特性が異なる

並木=街路樹は欲しい

- 道路には何かしらの並木が欲しい。運転している人の目を養えるし、歩行者の憩いの場所にもなる。③
- カーボンニュートラルの視点と光合成の為にある程度緑が必要③

管理面

- できるだけ管理に手間がかからないような樹種②
- 新たに拡張した道路に桜を植える場合、大きくなりすぎる前に植え替えるなどの工夫が必要。②

大型化しない樹種

- 消防署北側の芝生の中にあるヨウコウは、ソメイヨシノと同じ時期に植えたものだが、太くなっていない。植えるならヨウコウの方がいいと思う。①
- 大型化する樹木を街路樹として植えるという植栽方針に疑問。①

ヨウコウの花の色

- ヨウコウはソメイヨシノの淡い色のイメージに対してピンク過ぎる。①
- ヨウコウは色が桜らしいと思えない。コシノヒガンサクラやジンダイアケボノの方がソメイヨシノに近い色のように思える。①

A、B区間は、沿道の土地利用を見てから植える

- AB区間の桜は、沿道の土地利用を見てから植えても良いのではないか。③

その他 アンケート調査について

- 街路樹に関しては、まず並木をつくることをみんなが賛成しているのか、事務局としては街路樹を整備するのは決定していることなのか、ということも、桜の樹種の議論の前にきちんとしてから議論していきたい。①
- 街路樹を残すのか、または残せるものを残して間を空けておくという案なども含めて、区民のアンケートを取るなどして、根幹をきちんと見定めて進めていくべき。①
- アンケートは反対である。アンケートをとった場合、道路沿いに住んでいない人は絶対に桜に賛成する。②
- アンケートは沿道の住民とそれ以外の人にきちんと分けられよいのではないかと考える。あとは街路樹になにが適切か、瀬谷区のシンボル、レガシーとしてどう残すか考えるべき。②

街路樹、
樹種に関
する意見
も踏まえ
て検討

全て第3回懇談会での意見

第3回懇談会での今後の進め方と、A,B区間の考え方(案)への意見

(1)今後の進め方

- 海軍道路の特性を踏まえて、今後はA,B区間とC区間を分けて検討を進めます。

(2)A,B区間の考え方(案)

- A,B区間は、今までの懇談会でのご意見や、区民意識調査、桜並木の歴史等を踏まえて、海軍道路の桜を植え替えることで、新たな桜並木を創出していきます。

A,B区間と、C区間で分けるのはよい

- AB区間とC区間で分けたのは良い。歩み寄っているようで、ある意味正解なのではないかと考える。
- AB区間とC区間で状況が異なるので、分けるのは賛成。
- スケジュール案は賛成。
- AB区間とC区間で分けることは賛成。
- 今後の進め方の案は賛成。
- AB区間とC区間で分けて進めるのは賛成。
- AB区間とC区間で分けたことは評価している。
- 区域で分けるのは良い。
- AB区間とC区間で分ける必要性はある。

B区間を、上瀬谷小学校の南北で分けられないか。

- B区間は南端から上瀬谷小学校まで開発され、上瀬谷小学校から北の方は農地として残る。農地として残るところと開発されてしまうところで区間を分けることはできないのか。農地への影響を考えたい。

桜は街路樹として適切なのか。

- 街路樹に桜は本当に適切なのか。桜は枝を広げて伸ばしているところが良く、そういった桜を愛でたいと思う。これまでは、植えられていた桜と共存してきた。落ち葉が気になったことはなく、夏は日差しを遮ってくれるし、秋は冬の日差しを届けてくれる。四季の生活から見ると悪くはないが、街路樹としてはいかがなものか。③

A,B区間は桜、C区間は別の木でも良いのではないか。

- B区間は桜を残したい。海軍道路に桜を植えることに意味があると思っている。C区間のまとめを見ると、桜にこだわる必要はない。
- AB区間の東側で野菜を作っているが、その前の桜は弱っている。道路が拡幅され、桜を植え替えて、素晴らしい並木にしてほしい。
- ホームとビジターでは考え方が違う。常緑樹なのか落葉樹なのか、毛虫等の問題がある。自分はビジターなので桜が良い。
- AB区間は桜でも良いが、Cは別の木で良い。C区間は、桜ではなくてサザンカなど花が咲く木で良い。桜は葉が落ちる。
- 桜は霧が丘から続いている。多少桜を残した方が良い。

A,B区間は桜、できればC区間も桜が良い

- 桜を切ってしまうと風流が無くなってしまう。スペースがあるなら桜を植えてほしい。C区間もできれば桜が良い。

農地への影響も考える必要がある

- 桜を植えると、農地への影響が気になる。
- 桜があると、カラスの巣ができて農地が荒れる。

→農地への影響で留意すべき点
「枝、根の越境」「カラスの巣」

位置図



(仮称)旧上瀬谷通信施設地区
土地区画整理事業区域

2 A,B区間の樹種（案）について

- 前頁の課題に対する考え方は以下の通りです。

A,B区間の樹種を検討する上での課題への考え方

1-1 桜は街路樹として適切なのか

(1)道路構造令、道路緑化技術基準

- 道路構造令では、第4種第1級及び2級の道路(環状4号線は、第4種第1級に該当)には、植樹帯を設けるものとされています。
- 道路緑化技術基準では高木植栽での留意点として、次のように挙げられています。

高木を植栽する場合は、植栽しようとする樹種の成長特性等を理解の上、目標とする樹形、樹高を想定し、植栽する道路空間や維持管理水準に見合った樹種、植栽間隔とすることが望ましい。

(2)横浜市街路樹設置基準

- 横浜市街路樹設置基準(昭和53年9月29日制定、平成18年9月1日最近改正)では、次のことが示されています。

- 植栽間隔
街路樹(並木)は、標準10.0m以上
- 樹種の選定
ア 同一路線は同一の樹種と様式で植栽する。
イ 街路樹に使用する樹種は、大気汚染や病虫害に強く、剪定や刈込に耐える樹種等
- 植栽に適さない樹種の例(高木)
ユリノキ、プラタナス、カロリナポプラ、ヤナギ等(桜に関する樹種の記載は無し)

(参考)横浜市内の本数の多い街路樹

- 横浜市内の本数の多い街路樹
第1位 イチョウ 第2位 ユリノキ 第3位 サクラ類

上記の理由から、街路樹に桜を選択することができます。

1-2 農地への影響

(1)枝、根の農地への越境

- 枝と根の越境は、植栽する樹種(大きさ)により異なります。ソメイヨシノは枝が広がりやすく、根も樹幹にあわせて広がっていきます。
- 植栽基盤として垂直方向に根が伸長できなくなると水平方向に根を伸ばします。

考えられる要因

- (ソメイヨシノ)成長スピードが著しく早く、大径木であること
- 成長の度合いに適していない植栽基盤

(2)カラスの巣

- カラスは、高所に巣をつくることが多く、背の高いケヤキ、クスノキ、さらには電柱、鉄塔で見られます。

考えられる要因

- 人けのない場所
- 大径木、高木であること

上記に留意することで、農地への影響を軽減できると考えます。

上記の留意点を考慮しつつ、A,B区間における桜並木を再生していきます

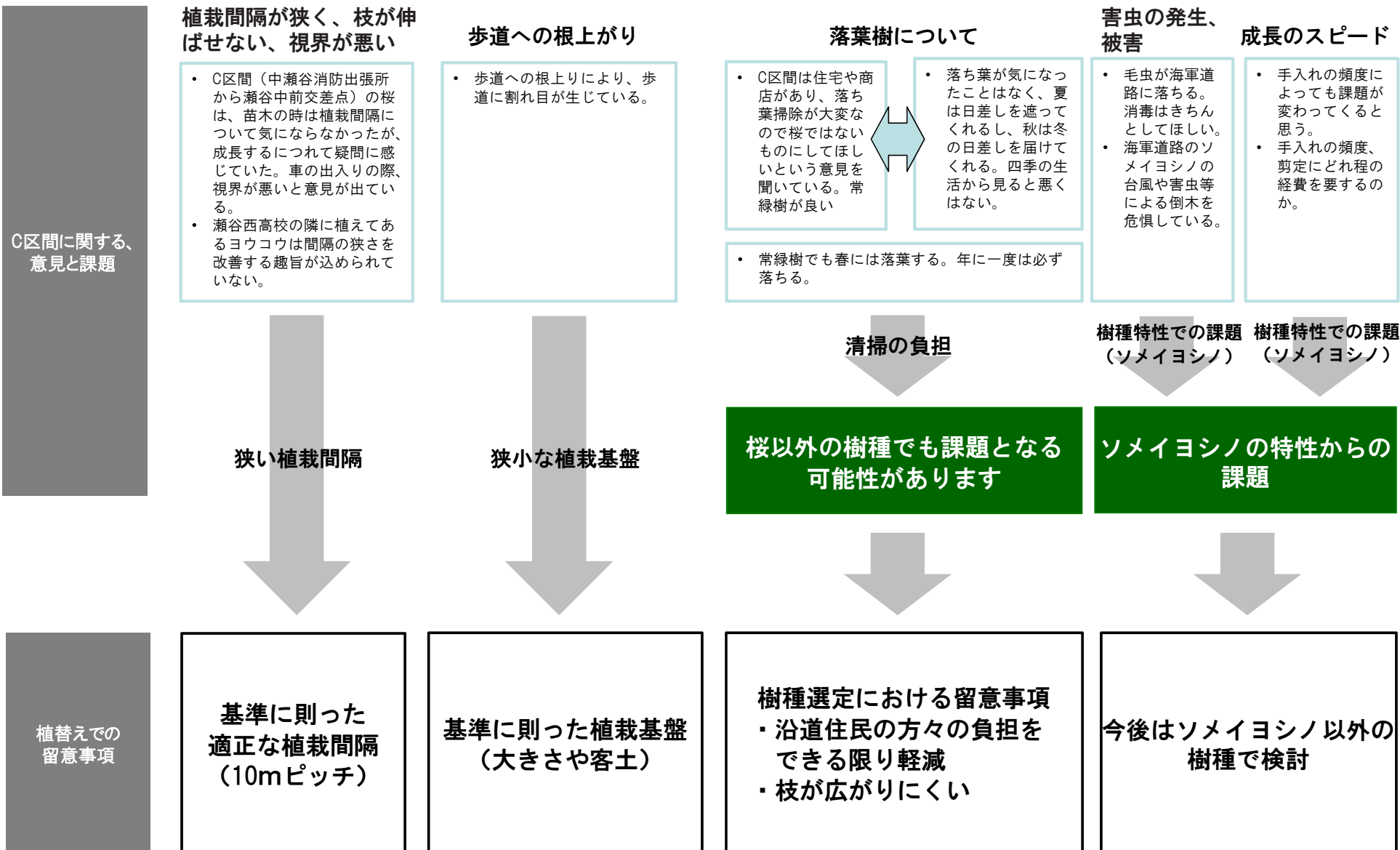
2 A,B区間の樹種（案）について

資料2

種名(品種名)	ヨウコウ	コシノヒガン	ジンダイアケボノ	※参考 ソメイヨシノ
事例写真	<p>植え替え前</p>  <p>植え替え後</p>  <p>横浜市 港南区 港南桜道</p>	<p>植え替え前</p>  <p>植え替え後</p>  <p>横浜市 泉区 いずみ野駅前通り</p>	<p>植え替え前</p>  <p>植え替え後</p>  <p>横浜市 金沢区 西柴の桜並木</p>	<p>※今回提示させていただいた3種と比較検討するための参考であり、ソメイヨシノは今後、検討する樹種ではありません。</p> 
タイプ	カンヒザクラ群栽培品種 アマギヨシノ×カンヒザクラ	エドヒガンとキンキマメザクラの交雑種 エドヒガン × キンキマメザクラ	エドヒガン群栽培品種	エドヒガン群栽培品種 エドヒガン×オオシマザクラ
開花時期、花の色	4月上旬 淡紅紫色／一重咲 ソメイヨシノより、濃いピンク	3月下旬 淡紅色／一重咲 ソメイヨシノに近い淡いピンク	4月上旬 淡紅紫色／一重咲 ソメイヨシノより、少し濃いピンク	3月下旬 微淡紅色～白色／一重咲 淡いピンク
樹高、樹形	<p>落葉高木 広卵型</p>  <p>ソメイヨシノほど大きくなり、枝が広がりにくい</p>	<p>落葉高木 傘型</p>  <p>ソメイヨシノほど大きくなり、枝が広がりにくい</p>	<p>落葉高木 傘型</p>  <p>ソメイヨシノよりやや小ぶり、枝が広がりやすい</p>	<p>落葉高木 傘型</p>  <p>枝が広がりやすい</p>
病害虫	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い (抵抗力がある)	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い (抵抗力がある)	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い (抵抗力がある)	てんぐ巢病にかかりやすい
成長スピード	ソメイヨシノより成長が遅い 約10年で6～7m※	ソメイヨシノより成長が遅い 約10年で6～7m※	ソメイヨシノと同程度 約10年で7～8m※	成長が早い 約10年で7～8m※
結論	△ 花の色が適していない (今までの懇談会での意見)	○ 病害虫に強い 現在の桜並木の趣(開花時期、色) ソメイヨシノより成長スピードが遅い	△ 成長スピードがソメイヨシノに近い	—

※成長スピードは、気象条件や植栽基盤の状況により大きく変化するため、あくまで参考値です。

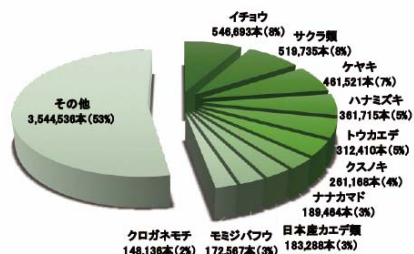
1 C区間の課題の整理と植替えでの留意事項



2 C区間の考え方(案)

(1) 落葉樹と、常緑樹

- 「わが国の街路樹Ⅷ 平成29年3月31日現在」での、全国の道路緑化の状況を見ると、街路樹として多いのは「落葉樹」となっています。
- 理由としては、夏は枝葉の木陰によって日差しを遮り、冬は落葉によって日差しを取り入れることが挙げられます。(緑陰樹)



出典: わが国の街路樹Ⅷ
国総研資料 第1050号

(2) 桜並木の概要・沿革

- 海軍道路の桜並木は、**平和を祈念して昭和50年から57年頃に植樹**されました。
- 平成29年度瀬谷区区民意識調査の瀬谷区を象徴するものに関する設問で「桜並木」が2位となっています。
- 瀬谷土木事務所ではC区間の西側歩道にヨウコウを随時植樹していくことや、東側歩道にもヨウコウの植樹を検討していく方針を地域に広報、現地説明会を開催しました。このことを踏まえて、**現在まで、ソメイヨシノからヨウコウへの樹種転換を随時、進めています。**

(3) 街路樹の機能(景観向上)

- 道路緑化技術基準では、下記のような機能が街路樹に求められています。環状4号線の桜並木は、**十日市場から続いておりその景観を維持・向上していくという視点も重要**と考えます。



図 1-1-1 道路緑化の機能



目黒交差点以北にもソメイヨシノが植栽。(ヨウコウに植替中)



(4) これまでの懇談会での意見

既存の桜への思い

- 桜を切ってしまうと風流が無くなってしまう。スペースがあるなら桜を植えてほしい。C区間も同じ路線なので、できれば桜が良い。
- 環状4号線の桜は霧が丘から続いている。多少桜を残した方が良いと思う。
- 自分はビジターなので、桜が良い
- ビジターの人間的には桜が良い

花博に向けての名所化

- テーマパークや公園など多くの人を迎え入れるという観点からいくと、駅から環状4号線が名所になることがとても重要。

C区間の考え方(案)

海軍道路の桜を植え替えることで、新たな桜並木を創出する